

経尿道的前立腺レーザー・蒸散術を受けられる患者さんへ

患者氏名

さん

主治医

担当医

交付看護師

月日(日時)	入院日(手術前日)	手術当日	手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4日目	手術後5~7日目	手術後8日目(退院)
経過・経過等	入院日(手術前日)	手術当日	手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4日目	手術後5~7日目	手術後8日目(退院)
通尿目標	・手術について理解し同意している。 ・手術に準備が整っている。	・血尿による尿管の閉塞がなく経過する ・出血・発熱・感染などの兆候がない。	→	→	・血尿や不快感がない。	・尿管を抜いた後、排尿がある。	【退院基準】 ・排尿があり、残尿感がない。 ・出血がなく、発熱など感染の兆候がない。
薬・点滴	・時に安定剤・下剤の内服があります。	手術前 ・軽から点滴を行います。 手術後 ・点滴をしています。 (場合により、点滴を行うこともあります)	・尿とダラに止血剤と抗生剤の点滴があります	→	・場合によっては点滴が続くことがあります。 ・場合により抗生剤の内服が処方されることもあります	→	→
処置	・陰部の毛のカットを行います。	手術の開始時間(時頃) 尿管が入っています	尿管の管が抜けるまで、1日1回消毒と軟膏を塗ります。	→	→	手術後5日目か6日目ごろに、血尿の程度を確認し主治医か尿管を抜きます。	→
検査			・血液検査をします		・血液検査をします。	尿管を抜いた翌日以降、退院までに、外来で主治医か看護師と確認をします	
活動・安静	・制限はありません	・ベッド上安静です。夕食時から坐ることもできます。(腹圧がかからないように、ベッドのリモコンを利用して上体を起こします)	・歩行できます(最初の歩行時はふらつく可能性があるため、看護師が付き添いをさせていただきます)	→	・制限はありません		
食事	・時まで飲水ができます ・時まで食事ができます。		・術室2時間後からお腹の動きがよければ、飲水、夕方から食事が食べられます。				
入浴	・必ず入浴又は、シャワーをしていただきます。		・発熱がなければシャワーが出来ます			尿管が抜けたら入浴ができます。	
排便			・トイレで排便できます。 (便秘時は、緩下剤を内服していただきます。)			尿管を抜いた当日から翌々日まで、排尿時間と1回尿量を記録していただきます。	
その他	・入院治療計画と手術同意書の受領。 ・入院生活について看護師から説明をいたします。 ・手術室看護師の訪問があります。 ・手術後の日常生活の注意点に関するパンフレットを配布し、説明させていただきます。 ・尿管の確認を行います。抗凝固剤内服の方は中止できているか確認を行います。 ・手術に必要なバスタオル1枚・T字帯1枚・寝衣1枚を準備してください。	・ご家族の方は手術開始から終了まで、控室または病室の基室でお待ちください。終る際は看護師に声をかけてください。 	・手術後、主治医から説明があります。 ・腹圧がなるべくかからないように注意してください。			・退院後の生活上の注意点について説明いたします。 ・退院前に外来にて主治医のお話があります。 	・病室の退院は退院までに主治医から説明があります。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点予測される期間です